

平成28年2月26日
豊浦中学校 学校評価委員会

平成27年度 学校評価に係わる報告



＜教育目標＞

言葉と心のキャッチボール



Let's play catch with our words and hearts.



保護者・地域の皆様へ

平成27年度の豊浦中学校は、1【学力の向上】2【言語活動の充実】3【自治的諸活動の推進】4【地域連携の推進】5【体力の向上と生活習慣の改善】を重点目標に教育活動に取り組んできました。この1年間の活動を、生徒・保護者の皆様からのアンケート結果や教職員による学校評価を基に振り返り、成果と課題を捉えて次年度以降の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

本年度の教育活動に保護者・地域の皆様から多大なご協力をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。平成28年度も本年度同様にご協力をお願いいたします。

* 「目指す生徒の姿」の達成状況と次年度の方向性 *

1【学力の向上】について

(1)「授業に積極的に取り組んだと答える生徒」の割合が教科平均90%以上

1年生平均100%、2年生平均90%、3年生平均99%であった。各学年ともにとても高い値を示している。

(H26年度の平均値は、1年生91%・2年生88%・3年生95%、全校平均91%)

□ 校内研修で、全教員が授業改善のために「一人一実践」の研究授業に取り組みました。次年度は、これまでの※NIE活動を継続して技能の定着、学習意欲の向上に結びつけ、生徒が学力の向上を実感できるように努力します。また、「めあて、流れ、振り返り」のある授業実践に全校体制で取り組みます。

(※NIE活動：教育活動に新聞を活用する取組。H26・H27に実践指定校に)

(2)「家庭学習1時間の目標時間を超える生徒」の割合が70%以上

1年生平均64%・2年生平均42%・3年生平均76%、全校平均61%の達成率であった。平均学習時間は、1年生70分、2年生56分、3年生88分であった。

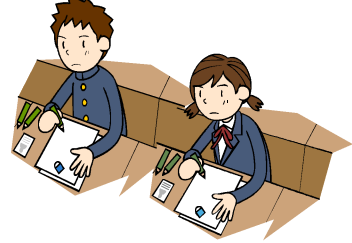
(H26年度の平均値は、1年生34%・2年生43%・3年生80%、全校平均52%)

□ 各学年や各教科で宿題として取り組む課題を用意し、チェック表を毎日点検して目標時間の増加を促しました。「家庭学習での課題」を提示し、計画的に家庭学習に取り組むことができるように指導した結果、徐々に家庭学習時間が増加している生徒が増えています。しかし、1・2年生での数値が低いことから、進路を念頭に置いた指導や家庭との連携を一層強化し、向上を目指します。

(3)「Web配信問題で6点以上（10点満点）とる生徒」の割合が70%以上

国・数・英3教科の6点以上の生徒平均は、1年80%、2年74%、3年79%であった。各学年・各教科で目標値を超えたが、2年生の英・数は若干数値が低い。
(H26年度の平均値は、1年生81%・2年生72%・3年生73%、全校平均75%)

- 1年間を通して、全校体制で朝活動の時間にWeb配信テストの過去問題やサポート問題に取り組みました。目標点に達していない生徒には、再テストや長期休業等を利用して補充学習を実施しました。また、英語等の授業において複数の授業者で生徒に指導するTT（チームティーチング）を実施し、きめ細かく生徒に対応できる体制を作りました。これらの取り組みの成果が順調にでており、平均点の上昇がみられました。次年度も継続した取り組みを実施していきます。



2【言語活動の充実】について

(1)「時と場に応じた言葉遣いを意識して行うようにした生徒」の割合が85%以上

1年生平均98%・2年生平均86%・3年生平均100%、全校平均95%であった。どの学年ともに大多数の生徒が高い意識をもって活動していた。
(H26年度の平均値は、1年生87%・2年生98%・3年生96%、全校平均94%)

- ほとんどの生徒が、時と場に応じた正しい言葉遣いで学校生活を送ることができます。しかし、SNSなどのネットへの悪口の書き込みや悪口の伝言などの人間関係をうまく作れないことが原因で起こるトラブルが増えています。

生徒会で「いじめ見逃しゼロスクール集会」の複数回実施するなど、取組を充実・発展させ、いじめを生まない言動について考える機会を継続します。

各教科や特別活動においては、自分の考えや思いを記述したり、発表したりする活動を積極的に取り入れ、生徒の表現力を育てます。また、ペアや班・グループなどでの協働的な学習を意図的に設定して、協調性を育てます。

(2)「全校生徒への伝達や発表で原稿を見ないで発表する生徒」の割合が60%以上

57%の生徒が、発表原稿を覚えて発表していた。自信のない生徒も可能な限り演台に置き、原稿を見ないで発表しようとした。〈3学期始業式まで〉
(H26年度は、69%)

- 始業式や終業式、全校朝会や生徒朝会、学年朝会など多くの発表場面で生徒は発表内容を覚えて発表するように心がけていました。

また、学級では、NIE活動の一環で昨年度に引き続き「今日の新聞記事」について発表する場面を設定し、すべての生徒が発表の機会をもちました。堂々と自分の意見を発表できる生徒が増えています。

今後も、多様な場面で多くの生徒が自分の意見を表現する場を設定し、表現力の育成を図ります。

3【自治的諸活動の推進】について

(1)「集団の一員として自覚をもって行動していると感じる生徒」の割合が85%以上

1年生平均98%・2年生平均93%・3年生平均99%、全校平均97%であった。
どの学年も集団への高い意識を持っている様子がみられた。

(H26年度の平均値は、1年生89%・2年生95%・3年生94%、全校平均93%)

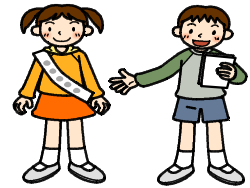
- 生徒会で取り組んでいるスクールネットワーク活動（※行事等の前後で行うメッセージ交換）で、各行事等で学年を越えた生徒同士のエール交換を行う取り組みを継続しています。本年度は、文字を丁寧に書き、文章の内容にも読み手を意識した気持ちを込めたものが増えています。生徒会活動では、生徒会本部や各委員会が中心的な役割を果たし、意欲的な取組が数多く見られました。

(2)「学校生活が充実していると感じる生徒」の割合が85%以上

肯定的な回答が1年生平均100%・2年生平均94%・3年生平均95%、全校平均96%であった。どの学年も肯定的な回答の値が高かった。

(H26年度の平均値は、1年生97%・2年生95%・3年生92%、全校平均95%)

- 全校朝会や生徒朝会を通じて生徒に活躍の場を設定し、生徒の活動を積極的に賞賛する取り組みから、落ち着いた雰囲気のもと学習や学校行事、部活動などで自分の力を発揮する生徒が増えています。また、生徒会行事や学校行事等では、生徒の実行委員会が主体となった企画や運営場面をより多く取り入れました。生徒の達成感や充実感につながっていると考えます。
次年度も継続した取組を行います。



4【地域連携の推進】について

「地域に貢献した活動に取り組んでいると感じる生徒」の割合が85%以上

肯定的な回答をした生徒の割合は、1年生94%・2年生77%・3年生85%、全校平均85%であった。

(H26年度の平均値は、1年生89%・2年生63%・3年生85%、全校平均79%)

- 各学年とも総合的な学習の時間を中心に、地域の方々との交流活動を計画的に実践しました。
- ・ 1年生は、地域行事である「月岡温泉どんと祭り」への参画・運営に取り組みました。そこで「新発田観光新聞」を作製・配布し、行事を盛り上げました。
 - ・ 2年生は、地域の職場で3日間の職場体験を行い、交流を深めました。また、学年PTA作業では真木山周辺道路の清掃活動を実施しました。
 - ・ 3年生は、地域の保育園での読み聞かせなどの交流活動を実施し、多くの方から喜んでいただくことができ、生徒が地域貢献を実感できる活動となりました。
- 昨年度に引き続いて、生徒の活動が「新潟日報」の記事に頻繁に取り上げられたことも生徒のやる気や充実感を増加させています。次年度以降も、さまざまな形で地域に生徒のよさを積極的にアピールしていきます。

5【体力の向上と生活習慣の改善】について

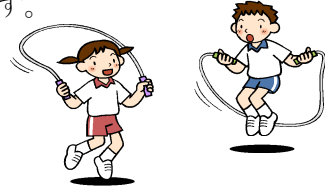
(1)「体力テストの全身持久力の数値が、全県の平均値よりも上回る」割合が全校で50%以上

全県の平均値を上回った生徒の割合は、全校の67%であった。(H26年度は40%)

- 持久力（体力テストの「シャトルラン」）の数値が低いため、体力向上策として体育授業の準備運動として毎時間ランニングを実施し、持久力向上を図りました。これまでの取組が徐々に成果をあげてきたと考えています。

今後も体育の授業だけでなく、部活動（運動部）等と連携を図りながら体力の向上を目指します。

また、保健体育や食育の授業等を活用した意識付けにも取り組みます。



(2)「平日のテレビやゲームの視聴時間やメールの合計時間が2時間未満と回答する生徒と保護者」が60%以上

全校生徒平均42%、保護者平均59%であった。生徒のメディア時間は1・2年生の達成率が低く、なかには長時間利用している生徒もいる。

(H26年度は、全校生徒平均38%、保護者平均59%)

- 「生活習慣改善ウイーク」を年に3回実施し、食事や生活リズム、※メディアコントロール等についての啓発活動に取り組みました。数年前から継続している校区内の4小学校との連携で、同一期間に実施するとともに保護者の皆様からご協力いただき家族ぐるみの取組として一定の成果をあげることができました。

(※メディアコントロール：テレビやビデオ、メール、コンピュータ等のメディアに接する時間を制限すること)

しかしながら、期間以外に実施したアンケート結果では、保護者の回答時間よりも生徒の回答時間が大幅に長いことから、深夜まで携帯やコンピュータ等に接している生徒が多いのではないかと懸念されます。メディア時間への意識の低い生徒も多いことも心配されます。ネットトラブルの防止とともに生活リズムと学力や健康との関係について、生徒への意識付けの指導を徹底します。また、保護者の皆様に情報を提供しながら今後とも取組を継続していきます。

※ 学校に関するご意見、ご質問は、
豊浦中学校 TEL. 0254-24-4492
FAX. 0254-24-4450
担当 藤原 までお願いします。

